

びわこ東海道景観協議会 について

令和元年7月3日(水)
大津市議会・草津市議会連携推進会議
場所:大津市役所議場

両市の景観連携

「近江八景」と「東海道」でつながりのある大津市と草津市で、「景観」を対象に相互の情報交換や意見交換を通して連携を図る。

平成22年4月 第1回大津草津景観連絡会議

平成23年2月 第2回大津草津景観連絡会議



平成25年10月までに、計7回開催

両市の景観連携

平成24年 9月

大津・草津湖上サミット



両市の景観連携

平成25年10月

大津市古都指定10周年事業

1. 船上からの景観体験

2. 景観クイズ

(滋賀県建築士会協力)



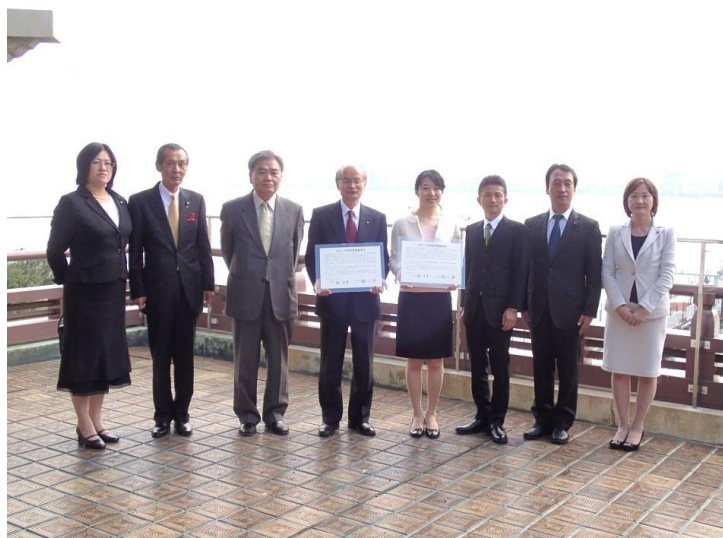
両市の景観連携

平成25年11月

地方自治法に基づく

「びわこ大津草津景観推進協議会」設立

「びわこ大津草津景観宣言」の調印



びわこ大津草津景観宣言

琵琶湖南岸の大津と草津は隣どうし、「いそがばまわれ」のことわざを生んだ旧東海道と宿場町などの歴史文化、そして「近江八景」に象徴される景観でつながっています。

両市はともに琵琶湖のさざなみをながめ、四季や一日の移ろいが美しく映えるやまなみや田園など、互いに眺望しあう関係にあります。それぞれの市民が潤いと安らぎのある自然の中で生活をいとなみ、歴史あるまちなみに親しみ、にぎわいのある都市の景観を築いています。

両市の市民が手を結ぶことで、良好な景観資産を維持し、新たに創出した美しい景観ともども、次世代へ手わたすことができます。

わたしたちは、大津市民・草津市民が互いに協力し、価値の高い景観の保全と新たな創造に取り組み、いっそう愛着と魅力あるものとして未来につなげていくことを、共同でここに宣言します。

平成25年11月2日

大津市長 趙直美

草津市長 橋川涉

両市の景観連携

平成26年11月

「東海道サミット」の開催

1. 東海道景観探訪

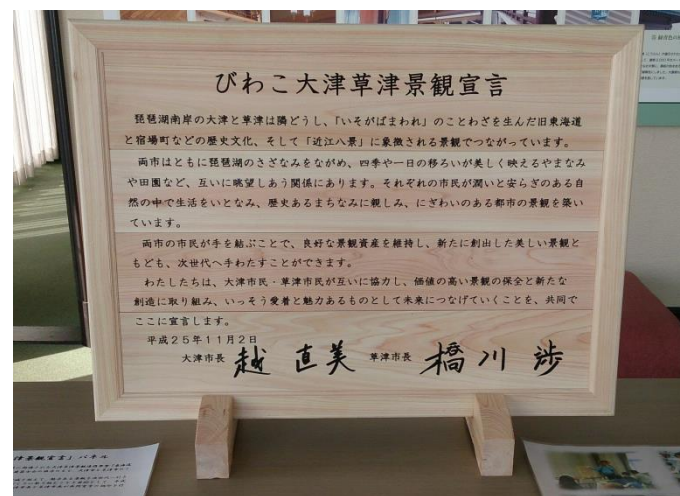
(滋賀県建築士会協力)

2. 東海道シンポジウム

※滋賀県建築士会より

景観宣言パネルを

寄贈いただく



両市の景観連携

平成27年10月

「景観づくりチャレンジ隊
大津祭編」の開催

※滋賀県建築士会より
大津祭の曳山の
クラフト製作の指導と
寄贈をいただく



平成27年12月

地方自治法に基づき、広域にわたる総合的な計画を共同して作成するため、大津市と草津市の両市議会において、びわこ大津草津景観推進協議会規約の議決を経る。

平成28年4月

広域にわたる総合的な計画を共同して
作成するための協議会へ移行
景観基本計画の作成に向けた
検討を始める



- 対岸景観の保全
- 東海道沿道の連続性ある景観形成
- 屋外広告物の統一した規制誘導

平成28年10月

「景観づくりチャレンジ隊

景観クルーズ編」の開催

※滋賀県建築士会より

近江八景「矢橋の帰帆」を

モチーフにした貼り絵の

作成の指導と、近江八景

のパネルを寄贈いただく



平成28年10月

対岸眺望ポイントの選定

大津市

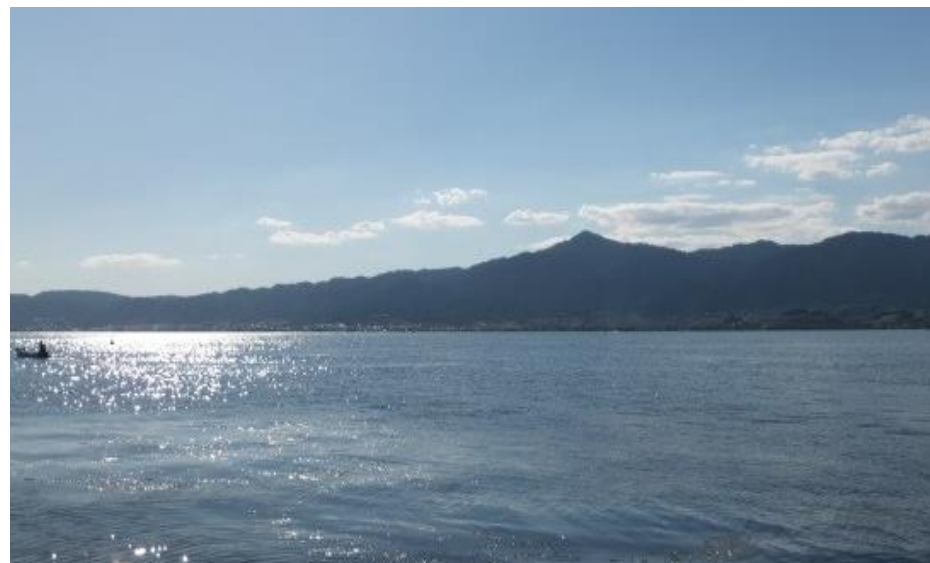
- 唐崎神社
- びわ湖大津館

草津市

- 烏丸半島
- 矢橋帰帆島



草津市 烏丸半島



大津市 唐崎神社

平成29年5月

東海道統一案内看板ロゴマークに係る
商標登録に関する協定を締結



平成29年7月

東海道統一案内看板
専門部会の設置



平成29年10月

東海道統一案内看板モデル看板除幕式 「景観づくりチャレンジ隊 大津×草津まちなかラリー編」の開催



平成30年9月

「景観づくりチャレンジ隊
対岸景観クルーズ編」の開催

※滋賀県建築士会より
東海道統一案内看板
モデル看板(第2号)を
作成いただく



平成30年11月

第8回びわこ大津草津景観推進協議会開催

○景観法第15条に基づく

景観協議会の設置を承認

○東海道統一案内看板設置の手引き作成



令和元年5月

平成30年4月の景観法運用指針の改正後、
景観法第15条に基づき、全国で初めて、複数の
景観行政団体による共通の「景観協議会」
を両市共同で設立

**令和元年5月～
新規設立**

「びわこ東海道景観協議会」

両協議会の位置付け

びわこ大津草津景観推進協議会

【目的】

- 両市共同の景観基本計画を策定し、必要な事業の実施に関する事務の管理執行を行う。
- 広域的な観点から良好な景観形成を推進するため、行政間での連携調整を図る。
- ⇒景観基本計画基本方針の提示
- ⇒景観基本計画素案を基に計画を最終決定

(大津市)

- 市長
- 部長
- 都市計画監

(草津市)

- 市長
- 部長
- 統括副部長

景観基本計画
基本方針提示

景観基本計画
案提示

びわこ東海道景観協議会

【目的】

- 両市が共同して策定する景観基本計画に関して必要な協議を行う。
- ⇒景観基本計画の作成
- ⇒連携啓発事業等の内容検討

令和元年5月～
新規設立

- 大津市職員
- 草津市職員
- 学識経験者(景観審議会委員)
- 観光関係団体
- 商工関係団体
- 景観整備機構
- その他

協議会併設の効果

びわこ東海道景観協議会

市民、事業者、行政の三者協働のもと、両市
共同の「景観基本計画」を作成

びわこ大津草津景観推進協議会

地方自治法に基づき、法的根拠をもつ両市共
同の「景観基本計画」を決定

⇒ 幅広い意見を反映した実行力のある計画

今後のスケジュール

第1回びわこ東海道景観協議会

日時：令和元年8月1日（木）15時から

場所：平野市民センター

内容：(1)大津市と草津市の景観連携の取り組み
について

(2)（仮称）びわこ大津草津景観基本計画
策定体制及びスケジュールについて

(3)（仮称）びわこ大津草津景観基本計画
骨子（案）について

今後のスケジュール

令和元年：景観基本計画骨子の作成

（びわこ東海道景観協議会による）

令和2年：景観基本計画の決定

（びわこ大津草津景観推進協議会による）

令和3年：景観基本計画の策定

各市景観計画への反映